



祝 卒業証書 授与式

3月1日：普通科125名 総合ビジネス科45名 看護科74名 計244名

希 望

第 133 号

発行所

〒860-8558 熊本市中央区内坪井町4番8号

熊本中央高等学校

後援会(保護者会)広報委員会

TEL 096(354)2333

FAX 096(356)6279

印刷 かもめ印刷 279-3440



卒業おめでとうござい
す。先生方の指導のもと、
授業はじめ体育祭、文化祭
や修学旅行等の行事と学年・
クラスでの活動に部活動や
生徒会・地域貢献・ボラン
ティア活動等に積極的に参
加し、自己啓発に努め、一
人ひとりの成長につながる
成果が生まれました。体験
から学習し創造する力とな
る知識と逞しい精神力の基
となる気力・体力に豊かな
人間性や挨拶・返事・言葉
遣いに礼儀・マナー等の基
本的な道徳的価値観が鍛え
られ、修得できたと信じま



卒業によせて

校長 池田 廣

す。また、県高校総体・総
文祭から九州・全国大会や
各種大会では日々の練習の
成果が大いに発揮されまし
た。学園百二十年の歴史と
伝統に新たなページを飾
り、建学の精神のもと、本
校の校風を更に高めまし
た。これまで共に学び、語
り合ひ、喜び合ひ、時には涙
し合った友人や学習・進路・
生徒指導を通して、親身に
指導・助言と相談に応じて
頂いた諸先生方と見守って
頂いた保護者の方々の支援
あってのものと思えます。
感謝の念を込めて「ありが
とう」の言葉を伝えてくだ
さい。
「社会人」としての一步
を踏み出します。社会に出
て働き続ける・学び続ける
力を身に付け高める為にも、



後援会会長 子出藤 税

「克己」に打ち克て!!

令和五年度、卒業を迎え
られる二百四十四名の皆様、
そして保護者の皆様、ご卒
業おめでとうございませ
す。心よりお祝い申し上げます。
皆さんは、小学校の時
「熊本地震」を経験し新型
コロナによる制限された行
事の中で高校生活を体験
しました。運動会や文化祭
入試、卒業式…。青春の一

ページを自然災害や未知な
るウイルスによって当たり
前の事が出来なくなり、大
変だったと思います。国や
政治が変革していく中、飲
食店や企業もなんとか生き
残りをかけて戦っています。
昨年からの「新型コロナウイルス」も
第五分業になり、インフル
エンザと同じ形態となつて
くる今、どの企業ももっと
会社を飛躍するよう、確か
な人材を求めています。
皆さんはこれから、進学
や就職、専門学校とそれぞ
れの分野で新たなステージ
への一步を踏み出す瞬間で

スキルとしてのAIも活用
し、更なる資格取得とコミュ
ニケーション力やプレゼン
テーション力を磨き続けて
ほしいと願います。「社会
に必要とされる人」を目指
して、自ら学び考え、正し
い判断のもとに行動できる
ように、また、刻々と変化
する社会生活に適応してい
く能力とそれに伴って責任
を取る事のできる能力が身
に付けられるように努力を
続けてください。十八歳成
人としての権利も持つ事と

ですが、是非「克己」とい
う言葉を覚えてほしいと思
います。
「克己」は「己に克つ」
です。「己の欲望や邪念に打ち勝
つこと」だそうです。私た
ちを取り巻く環境や状況は、
一瞬で変わります。そうい
った環境に一喜一憂すること
なく、自分自身を信用し、
己に打ち勝つことが前に進
む事だと思えます。
高校を卒業すれば皆さん
は私たちと同じ「成人」と
して扱われます。今まで制
限されていたことが自分で
判断する場面が出てきます
し、間違った判断をすれば
罰せられます。今まで大変
な中、高校生活を過ごせた
経験を活かし、いろんな場
面でも自分自身に「打ち克
つて」ください。皆さんなら

出ます。
皆さんが時を共にした三
年間という貴重な時間は、
時がたつにつれどれだけ貴
重な時間だったか気づくこ
とになるでしょう。また、
熊本中央高校生の一員とし
て、今後、先輩や後輩と接
していく時、誇らしい気持
ちになつて欲しいと思いま
す。校訓「高志躬行」「良妻賢
母」のもと、地域や社会の
リーダーとなつていくこと
を期待します。
末筆になりましたが、竹
下理事長、池田校長先生を
はじめ諸先生の皆様にはひ
とかたならぬご指導をいた
だき本当にありがとうございました。
保護者を代表し
心より感謝申し上げます。

令和5年度 卒業記念品

- ・パイプ椅子54脚
- ・掛け時計1個
- ・アルミベンチ7台
- ・看護科デジタル医学書一式
- ・理科実験器具一式

同窓会 入会式

2月29日、同窓会入会式が行われ、令和5年度卒業生244名が同窓会に入会されました。

第4回 竹下英理事長奨学金

2月20日に竹下英理事長奨学金給費式が行われました。今年度は専攻科生含め10名の生徒が選ばれ、竹下理事長より奨学金が授与されました。

給費式

二月七日に後援会給費式が行われました。本年度は五名の生徒が給費生として選ばれ、当日は後援会会長より給費金が授与されました。